

第4回日本医療研究開発大賞について

1. 趣旨

- 医療分野の研究開発の推進に多大な貢献をした事例に関して、功績を称えることにより、国民の関心と理解を深めるとともに、研究者等のインセンティブを高めるための賞。
- 「健康・医療戦略（閣議決定）」及び「医療分野研究開発推進計画（健康・医療戦略推進本部決定）」において賞の創設を記載。平成29年度より毎年、大賞を決定しており、今回は第4回目の大賞の表彰を行う。

2. 大賞の概要

● 内閣総理大臣賞 1件

極めて顕著な功績が認められる事例

● 健康・医療戦略担当大臣賞 1件

特に顕著な功績が認められる事例

● 文部科学大臣賞 1件

科学技術・学術の振興の視点から特に顕著な功績が認められる事例

● 厚生労働大臣賞 1件

社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進の視点から特に顕著な功績が認められる事例

● 経済産業大臣賞 1件

経済及び産業の発展の視点から特に顕著な功績が認められる事例

● 日本医療研究開発機構（AMED）理事長賞 数件程度

若手研究者（45歳未満を目安）で顕著な功績が認められる事例

3. 選考

- 関係4省（文部科学省、厚生労働省、経済産業省、総務省）及びAMEDから推薦のあった事例に関して、選考委員会（下記）の選考を経て受賞者を決定。

＜選考委員会＞ 永井 良三（自治医大学長）【主査】

菊地 眞（公益財団法人医療機器センター理事長）

辻 篤子（中部大学特任教授）

中川 俊男（公益社団法人日本医師会会長）

中山 讓治（日本製薬工業協会会長）

福井 次矢（聖路加国際病院院長）

渡部 眞也（一般社団法人日本医療機器産業連合会副会長）